長谷工コーポレーション
ホームページへ

2009 年 7 月 13 日

『長谷工　住まいのデザインコンペティション』
第 3 回の課題は「30 戸の住宅から生まれ変わる集合住宅」
既存環境との連携・関係性がテーマ

㈱長谷工コーポレーション（本社：東京都港区、社長：岩尾　崇）は、若手の人材育成を目的に、学生を対象とした第 3 回『**長谷工　住まいのデザインコンペティション**』を実施します。このデザインコンペは、創業 70 周年の記念行事と社会貢献活動の一環として 2007 年からスタートしました。第 1 回課題「300 人のための集合住宅」、第 2 回課題「30 年後の集合住宅」では、全国の学生から多数の応募があり、既成概念にとらわれない斬新なアイデアの作品が寄せられました。

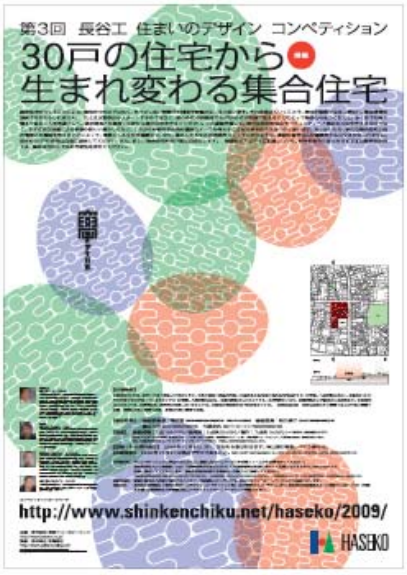
今回の「30 戸の住宅から生まれ変わる集合住宅」という課題では、“30 戸の住宅を建て替えることによって集合住宅をつくる”という、これまで以上にリアリティが求められる課題となっています。また、既存の町並みや環境との関係性、さまざまな形態による家族の暮らし方の提案など、これからの都市や社会の重要なテーマに対する考えを表現できる課題となっています。建築のリアリティに配慮しつつも、豊かな発想を表現した新しい提案が数多く寄せられることを期待しています。

（1）コンペ概要

課題：「30 戸の住宅から生まれ変わる集合住宅」
応募資格：2009 年 12 月 31 日時点で学生であること
（大学院、大学、短期大学、高等専門学校、高等学校、専修学校など）
（複数人で応募する場合は全員該当のこと）
登録・作品提出締切：2009 年 11 月 9 日（月）　（郵送のみ受付け、当日消印有効）

入賞作品発表・表彰式：2009 年 12 月 13 日（日）長谷工グループ主催「住宅・不動産・建築業界セミナー」（於　東京国際フォーラム）にて
結果発表：『新建築』2010 年 2 月号および当コンペホームページ上にて発表
賞金：最優秀賞 1 点 100 万円／優秀賞 2 点各 50 万円／佳作 7 点各 10 万円

主催：長谷工コーポレーション
後援：新建築社
審査体制：審査委員長　**隈　研吾**（隈研吾建築都市設計事務所代表）
審査委員　**乾　久美子**（乾久美子建築設計事務所代表）
藤本　壮介（藤本壮介建築設計事務所代表）
大栗　育夫（長谷工コーポレーション代表取締役専務執行役員）



応募登録はデザインコンペティションホームページから
http://www.shinkenchiku.net/haseko/2009/

(2) 第 1 回、第 2 回の応募状況

＜第 1 回＞

課題：「300 人のための集合住宅」

募集期間：2007 年 8 月 23 日～11 月 9 日

登録総数：783 件　応募総数：348 点

【最優秀賞】(1 点)

「300 人のランドスケープ」高池葉子（慶應義塾大学大学院）　湯浅崇史（慶応義塾大学）

他、優秀賞（2 点）、佳作（7 点）

＜第 2 回＞

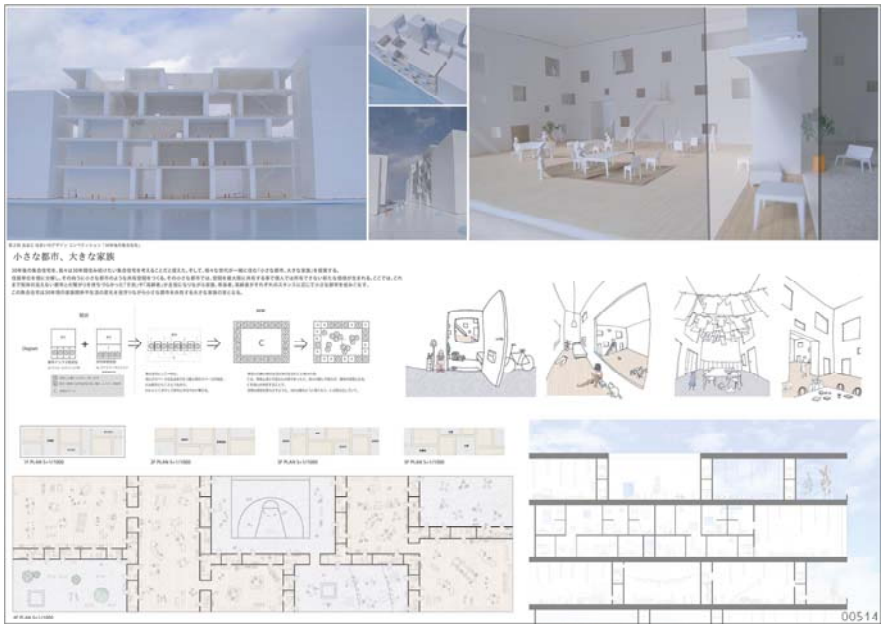
課題：「30 年後の集合住宅」

募集期間：2008 年 7 月 10 日～2008 年 11 月 7 日

登録総数：804 件　応募総数：378 点

【最優秀賞】(1 点)

「小さな都市、大きな家族」　富山晃一＋岩元俊輔＋津野田祐基（鹿児島大学大学院）



他、優秀賞（2 点）、佳作（7 点）